

liquidware™ Stratusphere UX

PCをVDIに移行した結果 パフォーマンスが悪化…



このような問題に悩まされていませんか？



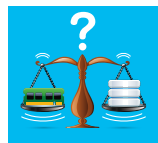
**始業時間のデスクトップ
立ち上げに時間がかかる！**

多数の社員が同時にデスクトップを立ち上げた際に発生するブートストーム。SSDを導入しても原因がADサーバーであった場合、何も解決しません。



**VDI導入時は問題なかったのに
次第に動作が遅くなっている！**

デスクトップの使い方は次第に変わっていくものです。ソフトウェアのバージョンアップや追加を行った場合、不足しているリソースが遅い要因になります。



**I/O負荷が大きくなったのでSSDを
導入したが問題が解決しない！**

I/O負荷が大きくなった本当の原因は、メモリ不足によるメモリスワップが原因であった。原因を正しく特定しないままに対処を行っても、問題は解決しません。



**VDIサーバーの負荷は
高くないのに画面表示が遅い！**

パフォーマンス悪化の原因がサーバーにあるとは限りません。ネットワークも含めて原因を究明する必要があります。

これらの根本的な問題は、**必要な情報の欠如**にあります。その解決策は…

そこでおすすしたいのが「Stratusphere UX」の活用です。

Stratusphere UXはVDIのためのユーザーエクスペリエンス解析ツール。パフォーマンスやリソース消費の状況を、グラフィカルな画面で簡単に把握できます。導入する必要があるのは、1つの仮想アプライアンスと、ゲストOS毎のエージェントのみ。これで全ユーザーのエクスペリエンスを可視化できます。

すでに高い実績をもつ「Stratusphere UX」

Stratusphere UXはコンサルティングサービスで標準的に使われています。また米軍でも採用されており、利便性や信頼性が高く評価されています。



それでは「Stratusphere UX」でどのような情報が得られるのでしょうか？

システム全体の負荷の変化

VDIの稼働に必要となる全てのリソースの使用状況を、1つの画面にまとめて表示。その変化を時系列で追いかけることができます。パフォーマンスが悪化した時の数値を見ることで、何がボトルネックになっているのが明確に。描画性能まで把握できるので、GPUがきちんと動いているのか、描画での過大な負荷がボトルネックになっていないかまでわかります。

システム全体の負荷の変化

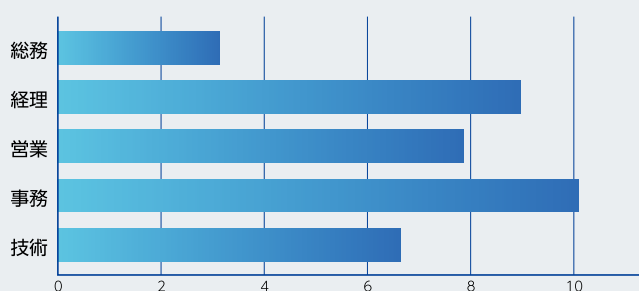
時間	CPU (MHz)	メモリ (GB)	IOPS	GPU (GDI)	ネットワーク (KB/s)
9:00	820	7.96	31.52	86	16.1
10:00	814	8.14	56.91	89	8.8
11:00	924	7.8	41.35	97	6.8
12:00	953	7.36	44.72	92	8.6
13:00	787	7.05	40.12	95	27.8
14:00	965	7.98	40.12	95	19.2
15:00	1033	8.34	117.99	106	21.4
16:00	1337	9.17	73.85	82	41.9
17:00	962	8.79	57.16	87	46.8
18:00	730	7.57	16.08	88	40.9

ここがボトルネック

グループ毎のリソース消費量

リソースの使用状況を、ユーザーグループ毎に表示することも可能。他より多くのリソースを使っているユーザーグループがどれなのか、即座に把握できます。このような情報があれば、各ユーザーグループにどれだけのリソースを割り当てるべきか、そのためにはどのサーバーでどのユーザーグループのデスクトップを動かすべきか、といった判断も行いやすくなります。

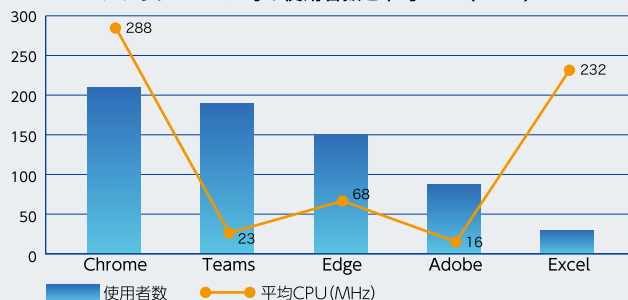
グループ毎のメモリ使用率(平均)



アプリケーション毎のリソース消費量

リソース消費量をアプリケーション毎に把握することも可能です。またそのアプリケーションを使用しているユーザー数もわかります。使用されているアプリケーションの変化を継続的に把握しておくことで、長期的なリソース増強計画も立案しやすくなります。

アプリケーション毎の使用人数と平均CPU (MHz)



デジタルテクノロジーは、liquidware の国内正規販売店です。
VDI環境のトラブルシューティングは、当社にお任せください。



デジタルテクノロジー株式会社

<https://www.dtc.co.jp/>

〔東京〕 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-23-1 エンパイヤビル
MAIL : sales@dtc.co.jp

〔大阪〕 〒530-0001 大阪市北区梅田1-13-1
大阪梅田ツインタワーズ・サウス 15F
MAIL : osaka@dtc.co.jp